


☆目指すは地産地「商」
東北大や東北経済連合会と協力し、東北の農商工連携のリーダー育成事業をことし六月から始める地域活性化支援コンサルタントの「プロジェクト地域活性化」(仙台市)。望月孝社長(写真)は「目指すのは地産地『商』。地場産品で商いができるリーダーを育て、地域の活性化に役立ちたい」と意気込む。



育成事業の対象は若手企業人ら。興業種との連携実績がある企業で研修を積み、経営も学ぶ。「東北の産品の質はいい。それを使ってもつかる仕組みを構築する能力を身に付けてほしい」とエールを送る。

交差点